

## 企業の課題解決研究

### 京都高島屋との共同研究

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大にともない、国内のインバウンド（訪日外国人観光客）消費は大幅に落ち込んでいます。一方で高島屋をはじめとする百貨店ではオンライン通信販売や若年顧客層への対応などが急務の課題となっています。こうした状況を受け、今年度の共同研究では主として国内消費に目を向け、百貨店を取り巻く新たな課題への対応策を研究することになりました。

#### 1. 共同研究内容

- (1)研究テーマ 京都高島屋における新たなマーケティング課題への対応に向けた調査研究
- (2)研究内容 経済学部学生による百貨店の新たな販売施策の調査・提案
- (3)研究期間 令和2年5月～令和3年2月
- (4)主担当 産学公連携推進機構 客員教授 近兼敏  
指導教員 経済学部教授 岡本哲弥 准教授 竹中厚雄 准教授 陳韻如

#### 2. 各グループの参加学生と研究テーマ

- (1)岡本ゼミ（伊藤有未 白樫亮汰 田岡美濤 安岡萌絵 渡邊千紘）  
テーマ「百貨店と次世代顧客層との接点開拓—接客におけるAIの可能性—」
- (2)竹中ゼミ①（秋山千尋 小畑柊 近藤美樹 田中翔 田侑芳）  
テーマ「顧客目線のオンラインストアづくり」
- (3)竹中ゼミ②（青木支思 巽亮貴 原田明幸 三木寛之）  
テーマ「SNS活用による若者との接点開拓」
- (4)陳ゼミ（大村怜於斗 楠本紗弓 西村祥之介 三隅飛初 森愛永 米原功貴）  
テーマ「若い世代の新たな消費行動の可能性について」

#### 3. 研究発表会

- (1)日時 令和3年2月5日（金）13:00～15:00
- (2)場所 滋賀大学彦根キャンパス・京都高島屋（リモート接続）
- (3)内容

今年度の共同研究では、百貨店にとって次世代の中心顧客となりうる若年層と店舗の接点開拓、および近年急速な売り上げの増加を見せているオンラインストアのさらなる売り上げ拡大をテーマとして、学生が調査研究を行い、提案を行いました。コロナ禍により行動が制限された中での共同研究でしたが、各グループ工夫をしながらデータを収集・分析し、具体的な施策を同社に対して提案しました。京都高島屋の担当者の方からは様々な観点からの質問やコメントがあり、活発な意見交換が行われました。



研究発表会の様子（彦根キャンパス）

## 嵯峨野観光鉄道との共同研究

滋賀大学は令和元年度に嵯峨野観光鉄道株式会社と観光分野における地域活性化に寄与することを目的とした連携協力協定を締結し、今年度は2年目の取り組みとなりました。新型コロナウイルスの感染拡大によるインバウンド消費の大幅な落ち込みへの対応は、同社にとっても喫緊の課題となっています。そのような中、今年度は国内需要の掘り起こしをテーマとした共同研究を実施することになりました。

### 1. 共同研究内容

- (1)研究テーマ 嵯峨野観光鉄道における国内需要開拓に向けた調査研究
- (2)研究内容 経済学部学生による観光鉄道事業の集客策の調査・提案
- (3)研究期間 令和2年6月～令和3年1月
- (4)主担当 産学公連携推進機構 客員教授 近兼敏  
指導教員 経済学部教授 岡本哲弥 准教授 竹中厚雄 准教授 陳韻如

### 2. 各グループの参加学生と研究テーマ

- (1)岡本ゼミ（田中壮史 千葉祐輔 舟越廉珠 松原ひかる）  
テーマ「嵯峨野観光鉄道における若者向けのマーケティング戦略」
- (2)竹中ゼミ（荒木健太 土田睦葵 藤田了子 山田雅由 鱒部亮太）  
テーマ「体験学習の導入による集客促進策～コト消費需要の高まりを背景に～」
- (3)陳ゼミ（粟津真子 桑名祥也 齊藤龍生 酒向穂乃香 野間一哉）  
テーマ「オンライン化がもたらす観光の可能性」

### 3. 研究発表会

- (1)日時 令和3年1月29日（金）14:00～15:30
- (2)場所 滋賀大学彦根キャンパス・嵯峨野観光鉄道（リモート接続）
- (3)内容

今回の共同研究では、特に国内需要の開拓・深耕を目的とした新たな集客策の検討をテーマとし、学生からは若者をターゲットとしたマーケティング戦略、体験学習を軸とした新たな集客策、オンライン・SNSを活用した宣伝と商品開発の提案などが行われました。学生からの具体的な提案に対し、同社の関係者からは様々な角度からの質問、コメントが投げかけられ、活発な議論の場となりました。



研究発表会の様子（嵯峨野観光鉄道）

（文責 准教授 竹中 厚雄）